

びわ湖トラスト親子環境学習講座

～megumiに乗船A～ 報告書



認定NPO法人 びわ湖トラスト

実施日 : 2022年7月26日(火)
 後援 : 大津市教育委員会
 協賛 : 公益財団法人 平和堂財団
 参加者 : 往路 大津港 6組 15名(大人:6名・子供:9名)
 復路 長浜港 7組 16名(大人:8名・子供:8名)
 スタッフ: 11名(講師・平和堂財団・ボランティアスタッフ含む)

行程

【往路】大津港発 → 長浜港着	【復路】長浜港発 → 大津港着
8:30 受付開始	12:30 受付開始
8:45 乗船開始	13:00 プランクトン採取の見学(長浜港)
9:00 大津港 出港	13:05 乗船開始
オリエンテーション	13:10 長浜港 出港
船の構造などの紹介	オリエンテーション
親子環境学習上の注意事項	船の構造などの紹介
トラストの活動紹介	親子環境学習上の注意事項
一瀬諭先生プランクトン講義	トラストの活動紹介
プランクトン観察(南湖:浜大津)	一瀬諭先生プランクトン講義
講義・質問	プランクトン観察
実習 顕微鏡観察 南湖	(北湖:長浜港・南湖:浜大津)
10:35 多景島 停泊	講義・質問
プランクトン採取の見学	実習 顕微鏡観察
10:50 多景島 出港	(北湖:長浜港・南湖:浜大津)
実習 顕微鏡観察	15:30 大津港 停泊
(北湖:多景島)	講義・質問
11:00 長浜港 停泊	まとめ
11:40 まとめ	16:20 下船 解散
12:30 解散	

新型コロナウイルス感染症対策として、

- ・定員を減らしてスペースを確保
- ・マスクの着用
- ・手指消毒(顕微鏡観察時はゴム手袋着用)
- ・実施日までの3日間の健康観察と受付時の検温

などを行った。



少しでも多くの方に講座を受講していただきたい、という事もあり、今年度は初の試みとして、

- ① 航路を大津港発・長浜港解散
- ② 長浜港発・大津港解散

という大津と長浜を往復する2便を運航し、参加者は片道のみ乗船となり、長浜港で入れ替えを行った。

講師は今年も一瀬諭先生。滋賀県琵琶湖環境科学研究センターで40年以上、琵琶湖のプランクトンの調査をされている方だ。今回は、プランクトン、特にワムシに詳しい助手の方も来てくださった。公益財団法人 平和堂財団からシニアアドバイザーと事務局長の2名の方が乗船。ジュニアドクター育成塾からボランティアスタッフとして、3名が参加してくれた。

プランクトンの採取は、南湖では集合前に先生が事前に採取してくださった。北湖は参加者に採取の方法を見学してもらうため、往路は、途中多景島に停泊してその栈橋で行い、復路は出発前に長浜港で行った。



往路・復路どちらの参加者もプランクトンについての講義では、メモを取りながら熱心に先生の話聞いていた。

顕微鏡からモニターに映るプランクトン観察では、見つけたプランクトンを先生に解説していただきながら、プランクトンの名前・分類・量を記入し、プランクトンのイラストにもマルをしていく。参加者も事前に同じ物を配布し、記入してもらった。



先生が口頭でプランクトン名をおっしゃるのだが、その名前がうまく聞き取れず、いつの間にかホワイトボードの前のスタッフの横に座り、そのスタッフに何度も聞き直す参加者の姿がとても微笑ましかった。



実習での顕微鏡観察では、ピント合わせやプランクトンの名前など分からないことがあると、手を挙げて先生以外のスタッフにも積極的に訊いていた。

プランクトンではないが、何なのか分からずに悩んでいると、助手の方が、これはユスリカの卵ですね。と、教えてくださいました。

参加した4年生の保護者から、顕微鏡の使い方をまだ習ってないので、勉強してきたんです。と、顕微鏡の使い方やイラスト、名称が書かれた用紙を見せてもらった。



まとめでは、南湖（浜大津）と北湖（往路：多景島、復路：長浜港）の違いを助手の方から説明していただいた。同じ北湖でも多景島と長浜港では、見られるプランクトンの種類が違った。どんなプランクトンが見られたかは、参加者だけの秘密。

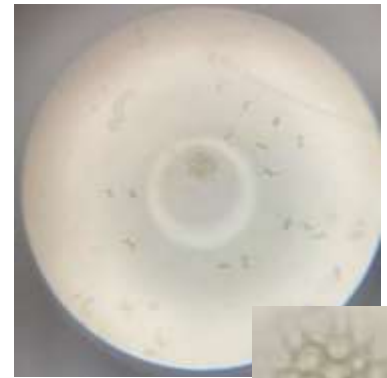
先生への質問の時も皆さん積極的で、たくさんの質問があり、先生が子供にも分かり易く答えてくださっていた。普段から「なぜ・どうして」と、疑問を持つこと、質問することが大切だ。と、教えてくださった。

最後に、プランクトンのスケッチをメールやFAXで送ってください。と、先生からの宿題が出た。どんなスケッチが送られてくるのかとても楽しみだ。

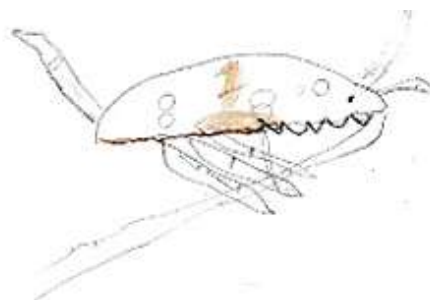
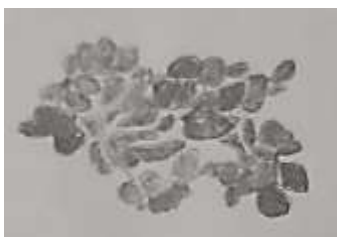
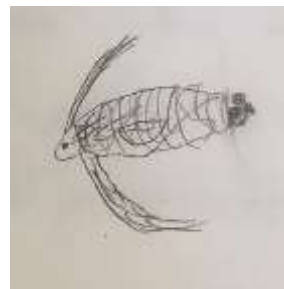
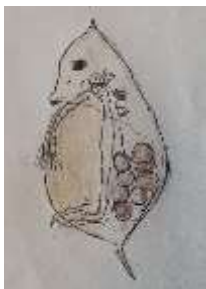
往路と復路で参加者を入れ替えて行う、という初めての試みは、時間に余裕がなく不安だったが、先生もいろいろ考えてくださり、参加された皆さんのご協力が無事終える事ができた。

ジュニアドクターからスタッフボランティアとして参加してくれた塾生も、本当に頑張ってくれた。

これを機会に参加者の中から1人でも多くの方が琵琶湖のプランクトンや生態系に興味を持ち、ジュニアドクター育成塾にも応募してくれることを願いたい。



【参加者のプランクトンスケッチ】



【ジュニアドクター育成塾 ボランティアスタッフの感想】

今回は、船での講義のボランティアをさせていただいて、ありがとうございました。

参加してくださった親子の方々と一緒に先生の話聞いて、私自身も初めて知ることがあったり、実習で顕微鏡を使う時に、質問をされて、それに答えたり実際にやって教えてあげること、自分の知識を、ちゃんと実際にやってみて固めることが出来ました。

貴重な経験をありがとうございました。

また次回も楽しみにしています。

(中学1年生 Sさん)

私はボランティアスタッフとして、3回ほど参加させていただきました。

毎回、同じ種類のプランクトンがいるのを見て「今年もいる!」と興奮したり、新しいプランクトンを見てそれが稀な種類だったりすると嬉しくなったりするのを密かに楽しんでます。

このmegumi号は行う内容は、沖島を散策したり、多景島で採水をしたりなど毎年少しずつ違ってきます。来年どんなプログラムになるか今から楽しみです。

ところで、私がジュニアドクター育成塾に入る前は小学校で少し触れた程度の知識しかなく、プランクトンのことは「ミジンコがいる」とか「浮遊していて、動物プランクトンと植物プランクトンがいる」くらいしか知らなかったです。しかし、塾生になり色々な先生のお話を聞いて少しずつ興味を持ちました。そして完全というには程遠いですが、顕微鏡を覗き込んでどんなプランクトンがいるのかが分かるようになりました。さらに、このmegumi号の活動に参加して、私は色々プランクトンについての知識が増えました。「このプランクトンはこの時期に多い」とか「このプランクトンが増えた理由はこうだ」とか、ジュニアドクター育成塾で学ぶ前には考えもしなかったことに疑問を持ちました。とても貴重な体験でした。

このmegumi号の活動は、採水の様子や、じっくり顕微鏡を覗いてプランクトンを見るなどの普段することがない貴重な体験ができます。是非ご参加ください。

(高校1年生 Yさん)